

令和元年 丹波市10大ニュース

【企画総務部総合政策課】

	タイトル及び説明
1	県立丹波医療センター・丹波市健康センターミルネ開設～地域包括支援の構築に向けて～ 7月1日、県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合病院「県立丹波医療センター」の開院に併せ、県立丹波医療センターと連携して、地域包括ケアシステムの中核的な役割や、保健・医療・福祉・介護を担う「丹波市健康センターミルネ」を開設した。 市健康センターミルネでは、柏原赤十字病院が担ってきた”かかりやすい医療“などを引継ぎ、「ミルネ診療所」、「健診センター」、「ミルネ訪問看護ステーション」を開設した。併せて、保健センター、休日応急診療所、こども発達支援センターを移設し、在宅生活を支える拠点として基幹型地域包括支援センターを新設した。
2	新しい都市構造のあり方「丹波市まちづくりビジョン」の策定 人口減少時代においても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちとして「未来の丹波市の姿」を描き、市民が夢と希望を共有するために、2年に亘る未来都市創造審議会での議論と議会・市民への説明を経て、11月に策定した。 まちづくり方針として未来の『まちの姿』と『暮らしの姿』を定め、「市の中心部への都市機能の一定の集積を進める都市デザイン」と「住み慣れた地域に住み続ける生活スタイル」の2つの方向性を示す「まちづくりビジョン」の実現に向けて、市民、事業者、行政がお互いの役割を理解し協力しあいながら協働してまちづくりを進めていく。
3	丹波市制施行15周年記念式典で丹波市市民憲章を発表～未来の決意を新たに～ 平成16年11月1日に氷上郡6町が合併、丹波市が誕生してから15年を記念し、11月2日に市制施行15周年記念式典を挙行了した。 これまでの市政の歩みを振り返るとともに、丹波市民のふるさとへの愛着と一体感を一層醸成し、よりよいまちを進めていくため、丹波市市民憲章検討委員会などで協議を重ね制定した「丹波市市民憲章」を発表した。 これからも、未来の夢の実現に向け、引き続き積極的な施策展開ができるよう、新たな決意でまちづくりに取り組む。
4	全国自治体初！全日制の有機農業を学ぶ「丹波市立農^{みのり}の学校」を開校 4月8日、地域農業が抱える課題を解決する手段の1つとして、新規就農を目指す者を対象に市内で農業栽培技術（有機農業・特産物等）、農業経営及び農村文化を学び、実践できる研修施設として、「丹波市立農の学校」を開校した。 農の学校を卒業する多くの修了生が、将来の丹波市の農業・農村の担い手となることをめざしていく。
5	地域づくり活動を支援する「丹波市市民プラザ」を開設 10月22日、市民の皆さんが主体的に取り組む市民活動や、地域づくり活動を総合的に支援する「市民活動支援センター」と男女共同参画社会の実現を目指した取り組みを行う「男女共同参画センター」、子育てに関する活動支援を行う「氷上子育て学習センター」を併設した「丹波市市民プラザ」を、ゆめタウン2階に開設した。 組織運営や法人設立相談、活動団体の紹介、仲間づくり、交流事業の開催など、市民の皆さんによるまちづくりに関する様々な要望に応える交流拠点をめざす。

	タイトル及び説明
6	市内全域で13園の幼保連携型認定こども園による幼児教育・保育がスタート！ 平成18年12月に策定した「丹波市こども園に関する基本方針」に基づいて、0歳から5歳児までの育ちの連続性に着目した、幼児教育・保育の一体的な提供をめざして、認定こども園の設置を推進してきた。 市発足当時、44園あった幼稚園と保育所（園）は、全て13園の認定こども園に統合され、平成31年4月に市全域で幼保連携型認定こども園での、一体的な幼児教育・保育を提供できる環境が整った。
7	令和5年4月の開校をめざす山南地域統合中学校の場所が決定 3月2日、臨時教育委員会において、山南中学校、和田中学校の統合場所を山南中央公園とすることが決定された。 この決定を受け、令和5年4月の開校をめざし、山南地域市立中学校統合準備委員会では、総務部会、教育課程部会、通学設備部会の3部会を構成し、細部にわたる協議を始めた。
8	地域を結ぶ交流架け橋～川代トンネル開通！榎峠バイパス化とI C O C A導入が決定 3月23日、丹波篠山市内から丹波市山南町を結ぶ主要地方道篠山山南線川代トンネルが開通し、アクセス改善により両市のさらなる交流の促進が期待される。 また、10月には丹波市と福知山市を結ぶ国道429号榎峠のバイパス化事業が公共事業等審査会で「着手妥当」と判断された。 さらに、7月9日には、J R 福知山線の複線化に向けての関連する取り組みが実り、令和3年春にJ R 福知山線市内全駅でI C O C Aが使える環境となることが決定するなど、丹波市への観光客増加、企業進出などの経済効果が期待される。
9	ケント市・オーバン市姉妹都市訪問団来丹～信頼と友好の絆を確かなものに～ 10月10日、11日の2日間、平成30年8月10日に姉妹都市提携を締結したアメリカ合衆国ケント市・オーバン市から両市長をはじめとする9名の訪問団が来丹した。 友好の証として設立した石碑を披露し、兵庫県知事への表敬訪問や市内高校、企業などの訪問を行った。 丹波市合併以前から50年以上続く交流を礎に、これからも交流が発展し、教育・経済をはじめ、様々な分野で信頼と友好の絆が深まることが期待される。
10	丹波市「心 つなぐ」防災の日を定める条例を制定～経験と教訓を後世につなぐ～ 平成26年8月の丹波市豪雨災害に対する多くの支援への感謝や、5年間の歩みを振り返り復興への思い込めた「復興5年イベント「和一处（わっしょい）」を8月18日に開催した。 災害からの5年間、豪雨災害から学んだ経験と教訓を後世に継承するため、3月21日、被害が最も大きかった市島町谷上地区に、防災学習の拠点となる丹波市立復興砂防公園が開園した。 また、自助とそれを補う共助、公助が連携する安全で安心な地域社会づくりを推進するため、8月16日を防災の日とした『丹波市「心 つなぐ」防災の日を定める条例』を制定した。